

2021年度支部共通事業 日本建築学会設計競技

## 課題

# 「まちづくりの核として 福祉を考える」

## 応募要領

主催：日本建築学会

後援：日本建設業連合会、日本建築家協会、日本建築士会連合会、日本建築士事務所協会連合会（以上、予定）

福祉の現場とは、当たり前なのが困難な方々が当たり前の時間をすごせることを目指して多様な努力が払われる場所だと思ふ。

居住系や通所系のサービスでは、身体を含む全ての障害者の方々の日常生活がサポートされ、知的や精神の障害を対象とした福祉の現場では、日常生活だけでなく社会生活がサポートされる事例も多く存在する。サポートには多様な工夫が見られる。例えば、高齢者福祉の現場では、施設を子育て支援などの事業と組み合わせることにより、施設としての閉鎖性を乗り越えようとする試みがみられる。知的・精神に対する福祉の現場では、廃業した農家の代わりに耕作放棄地を耕すことや、経営的に成り立たせることが難しいゴミの分別業務を就労支援の現場にするなど、誇りを感じる仕事づくりがまちづくりの一助となるような試みもある。

福祉を語る言葉にノーマライゼーションというものがあるが、現場における多様な試みから見えてくるのは、ノーマル＝日常というものが健常者の日常をなぞらえるものとしてあるのではなく、より積極的な意味付けとともに実践されていることである。その活動は、もしかしたら私たち健常者の日常以上にいきいきとしたものになっているかもしれない。実際に、福祉施設らしい実践をとおして、周辺のまちづくりに参加するような動きも多くみられるようになっている。つまり、福祉施設が実践するノーマル＝日常をきっかけとして、まちづくりがひろがりつつあるようである。

まちづくりの核として福祉の現場を捉えてみてほしい。福祉の対象や、そこでの日常や社会生活の実践を自らで設定する必要があるだろう。そして、それらの実践に都市や建築がどのように関連できうるのかを検討してほしい。

審査委員長 乾久美子

### A. 課題

まちづくりの核として福祉を考える

### B. 条件

実在の場所（計画対象）を設定すること。

### C. 応募資格

本会個人会員（準会員を含む）、または会員のみで構成するグループとする。なお、同一代表名で複数の応募をすることはできない。

※未入会の場合は、**2021年4月19日（月）までにこちらから**入会手続きを完了すること。（応募期間と異なるためご注意ください。）

※未入会者、2021年度会費未納者ならびにその該当者が含まれるグループの応募は受け付けない。応募時までに完納すること。（手続き完了まで1週間程度を要するため、お早めにご対応ください。）

### D. 提出物

下記3点を提出すること。

#### a. 計画案のPDFファイル

以下の①～④をA2サイズ（420×594mm）2枚に収めた後、A3サイズ2枚に縮小したPDFファイル。（解像度は350dpiを保持し、容量は合計20MB以内とする。PDFファイルは1枚目が1ページ目、2枚目が2ページ目となるように作成する。A2サイズ1枚にはまとめないこと。）模型写真等を自由に組み合わせ、わかりやすく表現すること。

- ① 設計主旨（文字サイズは10ポイント以上とし、600字以内の文章にまとめる）
- ② 計画条件・計画対象の現状（図や写真等を用いてよい）
- ③ 配置図、平面図、断面図、立面図、透視図（縮尺明記のこと）
- ④ まちづくりに関係する提案を示すもの

#### b. 作品名および設計主旨のWordファイル

「a. 計画案のPDFファイル」に記載した作品名と設計主旨の要約（200字以内とし、図表や写真等は除く）をA4サイズ1枚に収めたWordファイル。なお、容量は20MB以内とする。

#### c. 顔写真のJPGファイル

横4cm×縦3cm以内で、共同制作者を含む全員の顔が写っているもの1枚に限る。なお、容量は20MB以内とする。

※提出物は、入選後に刊行される『2021年度日本建築学会設計競技優秀作品集』（技報堂出版）および『建築雑誌』の入選作品紹介の原稿として使用します。

### E. 注意事項

- ① 今回より、応募方法がWeb応募に変更となりました。募集ページに掲載する「応募サイト」上での応募者情報の入力および提出物のデータ送信をもって応募となります。締切後の訂正は一切できず、提出物のメール添付やCD-R等での郵送、持参は受け付けません。※詳細は「F. 応募方法」および募集ページ参照。
- ② 応募要領の公開後に生じた変更事項や最新情報については、随時募集ページ上に掲載します。実際に応募する前に確認してください。
- ③ 「D. 提出物」には、氏名・所属などの応募者が特定できる情報を記載してはいけません。なお、提出物は返却いたしません。
- ④ 応募作品は、未公開で未発表の応募者自身によるオリジナル作品であること。他の設計競技等へ過去に応募した作品や現在応募中の作品（二重応募）は応募できません。
- ⑤ 応募作品は、全国二次審査会が終了するまで、あらゆる媒体での公開や発表を禁じます。
- ⑥ 応募要領に違反した場合は受賞を取り消す場合があります。
- ⑦ 新型コロナウイルス感染症等の影響により、全国二次審査会の開催方法等を変更する場合があります。

## F. 応募方法

- ① 以下の募集ページに掲載する「応募サイト」よりご応募ください。なお、「応募サイト」にて、計画対象の所在地に応じてその地域を所轄する本会各支部を選択いただきます。例えば、関東支部所属の応募者が東北支部所轄地域内に場所を設定した場合は、東北支部を選択してください。海外に場所を設定した場合は、応募者が所属する支部を選択してください。本会各支部の所轄地域は、「J. 問合せ」②をご参照ください。

募集ページ：

<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=637515>

- ② 応募期間

**2021年5月14日(金)～6月14日(月) 17:00(厳守)**

## G. 審査方法

- ① 支部審査

応募作品を支部ごとに審査し、応募数が15件以下は応募数の1/3程度、16～20件は5件を支部入選とする。また、応募数が20件を超える分は、5件の支部入選作品に支部審査委員の判断により、応募数5件ごと(端数は切り上げ)に対し1件を加えた件数を上限として支部入選とする。

- ② 全国審査

支部入選作品をさらに本部に集め全国審査を行い、「H. 賞および審査結果の公表等」の全国入選作品を選出する。

- 1) 全国一次審査会(非公開)

全国入選候補作品とタジマ奨励賞の決定。

- 2) 全国二次審査会(公開) ※オンライン開催を予定。詳細未定。

全国入選候補者によるプレゼンテーションを実施し、その後最終審査を行い、各賞と佳作を決定する。代理によるプレゼンテーションは認めない。なお、タジマ奨励賞のプレゼンテーションは行わない。

・日 時(予定)：2021年9月15日(水) 13:00～17:00

- ③ 審査員(敬称略順不同)

<全国審査員>

委員長：乾久美子(乾久美子建築設計事務所取締役)

委員：金野千恵(tecoco主宰)

佐藤淳哉(長岡造形大学准教授)

末光弘和(九州大学准教授)

仲 俊治(仲建築設計スタジオ代表取締役)

林 立也(千葉大学准教授)

松田貢治(三菱地所設計TOKYO TORCH設計室長)

<支部審査員>

- ・北海道支部

赤坂真一郎(アカサカシンイチロウアトリエ代表取締役)

小西彦仁(ヒココニシアーキテクチャ代表取締役)

久野浩志(久野浩志建築設計事務所代表)

山田 良(札幌市立大学教授)

山之内裕一(山之内建築研究所代表)

- ・東北支部

齋藤和哉(齋藤和哉建築設計事務所代表取締役)

手島浩之(都市建築設計集団/UAPP代表取締役)

畠山雄豪(東北工業大学准教授)

平岡善浩(宮城大学教授)

増田 聡(東北大学教授)

- ・関東支部

雨宮知彦(ラーバンデザインオフィス合同会社代表)

小林一文(石本建築事務所設計監理部門建築グループ統括部長)

篠原 勲(miCo.共同主宰)

西田 司(東京理科大学准教授、オンデザインパートナーズ代表)

渡辺 猛(佐藤総合計画第3設計室第1オフィス第1設計室室長)

- ・東海支部

小野寺一成(三重短期大学教授)

佐々木勝敏(佐々木勝敏建築設計事務所代表)

塩田有紀(塩田有紀建築設計事務所代表)

夏目欣昇(名古屋工業大学准教授)

米澤 隆(大同大学講師)

- ・北陸支部

清水俊貴(福井工業大学准教授)

菅野圭祐(金沢工業大学講師)

西村伸也(新潟大学名誉教授)

萩野紀一郎(富山大学准教授)

梅干野成央(信州大学准教授)

横山天心(富山大学准教授)

- ・近畿支部

奥田英雄(大林組大阪本店建築設計部部長)

喜多主税(日建設計設計部門ダイレクター)

南浦琢磨(安井建築設計事務所大阪事務所設計部部長)

柳沢 究(京都大学准教授)

吉岡聡司(大阪大学准教授)

- ・中国支部

岡松道雄(山口大学教授)

小川晋一(近畿大学教授)

中藺哲也(広島大学准教授)

原 浩二(原浩二建築設計事務所所長)

前田圭介(広島工業大学教授)

向山 徹(岡山県立大学教授)

- ・四国支部

大西泰弘(田園都市設計代表取締役)

徳弘忠純(徳弘・松澤建築事務所主宰)

中川俊博(中川建築デザイン室代表取締役)

二宮一平(二宮一平建築設計事務所所長)

- ・九州支部

黒瀬武史(九州大学准教授)

西村謙司(日本文理大学教授)

前田 哲(日本設計チーフアーキテクト)

矢作昌生(九州産業大学教授)

宮原真美子(佐賀大学准教授)

## H. 賞および審査結果の公表等

- ① 賞

1) 支部入選：支部長より賞状および賞牌を贈る(ただし、全国入選者・タジマ奨励賞は除く)。

2) 全国入選：次のとおりとする(合計12件以内)。

・最優秀賞 2件以内

賞状・賞牌・賞金(計100万円)

・優秀賞 数件

賞状・賞牌・賞金（各 10 万円）

・佳作 数件

賞状・賞牌・賞金（各 5 万円）

- 3) タジマ奨励賞：タジマ建築教育振興基金により、支部入選作品の中から、準会員の個人またはグループを対象に授与する（10 件以内）。

賞状・賞牌・賞金（各 10 万円）

## ② 審査結果の公表等

- ・支部審査の結果：各支部より応募者に通知（7月15日以降予定）
- ・全国審査およびタジマ奨励賞の結果：本部より全国一次審査結果を支部入選者に通知（8月上旬）
- ・全国入選作品・審査講評：『建築雑誌』ならびに本会 Web サイトに掲載

## I. 著作権

入選作品の著作権は、入選者に帰属する。ただし、本会および本会が委託したものが、この事業の主旨に則して入選作品を『建築雑誌』または本会 Web サイトへの掲載、紙媒体出版物（オンデマンド出版を含む）および電子出版物（インターネット等）を利用し公衆に送信することを含む）、展示などでの公表等に用いる場合、入選者は無償でその使用を認めることとする。

## J. 問合せ

### ① 応募サイトに関する問合せ

- ・日本建築学会 支部共通設計競技 電子応募受付係  
TEL 03-3456-2056  
E-mail [sskoubo@aij.or.jp](mailto:sskoubo@aij.or.jp)

### ② その他の問合せ、各支部事務局一覧 [計画対象地域]

- ・日本建築学会 北海道支部 [北海道]  
TEL 011-219-0702  
E-mail [aij-hkd@themis.ocn.ne.jp](mailto:aij-hkd@themis.ocn.ne.jp)
- ・日本建築学会 東北支部 [青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島]  
TEL 022-265-3404  
E-mail [aij-tohoku@mth.biglobe.ne.jp](mailto:aij-tohoku@mth.biglobe.ne.jp)
- ・日本建築学会 関東支部 [茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨]  
TEL 03-3456-2050  
E-mail [kanto@aij.or.jp](mailto:kanto@aij.or.jp)
- ・日本建築学会 東海支部 [静岡、岐阜、愛知、三重]  
TEL 052-201-3088  
E-mail [tokai-sibu@aij.or.jp](mailto:tokai-sibu@aij.or.jp)
- ・日本建築学会 北陸支部 [新潟、富山、石川、福井、長野]  
TEL 076-220-5566  
E-mail [aij-h@p2222.nsk.ne.jp](mailto:aij-h@p2222.nsk.ne.jp)
- ・日本建築学会 近畿支部 [滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山]  
TEL 06-6443-0538  
E-mail [aij-kinki@kfd.biglobe.ne.jp](mailto:aij-kinki@kfd.biglobe.ne.jp)
- ・日本建築学会 中国支部 [鳥取、島根、岡山、広島、山口]  
TEL 082-243-6605  
E-mail [chugoku@aij.or.jp](mailto:chugoku@aij.or.jp)

- ・日本建築学会 四国支部 [徳島、香川、愛媛、高知]

TEL 0887-53-4858

E-mail [aijsc@kochi-tech.ac.jp](mailto:aijsc@kochi-tech.ac.jp)

- ・日本建築学会 九州支部 [福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄]

TEL 092-406-2416

E-mail [kyushu@aij.or.jp](mailto:kyushu@aij.or.jp)

### 【優秀作品集について】

全国入選・支部入選作品は『日本建築学会設計競技優秀作品集』（技報堂出版）に収録し刊行されます。過去の作品集も、設計の参考としてご活用ください。

<過去5年の課題>

- ・2020年度「外との新しいつながりをもった住まい」
- ・2019年度「ダンチを再考する」
- ・2018年度「住宅に住む、そしてそこで稼ぐ」
- ・2017年度「地域の素材から立ち現れる建築」
- ・2016年度「残余空間に発見する建築」

<詳細・販売> 技報堂出版 <https://gihodobooks.ssslserve.jp/>